

深小だより

新年度を迎えて

三原市立深小学校
校長 松島 恵子

三月十六日(土)、第七十二回三原市立深小学校卒業証書授与式を、多くのご来賓のみなさまのご臨席を賜り、盛大に挙行することができました。十名の卒業生が、それぞれの進路に向かって胸を張って巣立っていきました。また、二十五日には、修了証書授与式を行い、平成三十年度を終了する事ができました。

この一年間、学校教育活動にいつも温かくご支援・ご協力いただきました地域や保護者のみなさまに、心より感謝申し上げます。さて、四月一日からは新年度の始まりとなります。この度の人事異動で、職員の変更がありましたので、お知らせいたします。

◇転出する職員
教頭 世良 幸枝
三原市立木原小学校へ
校長昇任

教諭 前田 秀尚
三原市立糸崎小学校へ
教諭 安永 真彩
福山市立霞小学校へ

主事 立川 蛍
尾道市立栗原北小学校へ

◇離任する職員
教諭 岡 鏡子

◇転入する職員
教頭 平原 幹彦
三原市立南小学校
教諭より昇任

教諭 和田 恵芳
三原市立三原小学校より

教諭 高橋 聡
三原市立大和小学校より

教諭 板倉 雅浩
事務 藤原 美砂

全校四十二名でのスタートとなります。三・四年、五・六年が複式学級となり、教職員数が十名と一人減ります。

今年度は、五名の新入児童を迎え、「思考力・判断力・表現力」を高めるべく、「郷土愛」を高めるべく、さらに豊かな教育活動が推進できるように十名でチーム深として取り組んでまいります。今年度も、よろしくお願ひ申し上げます。

四月十三日(土) 十八時三十分よりPTA歓迎会があります。地域の方でご参加いただける方は学校へ一報いただけたら幸いです。

担当：教頭
電話 六二一四六六五

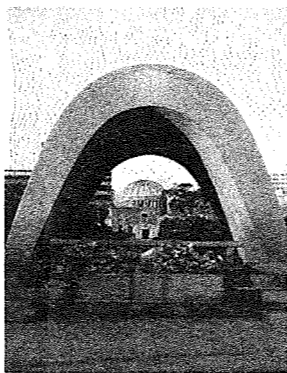
RCラジオで作文放送

「平成ラジオオバラエティ」ごぜん様さまで「僕の作文、わたしの作文」のコーナーで、深小の児童の作文が放送され、聞かれた方も多く送されています。今月から何回かに分けて掲載いたします。放送された順ではありませんので。

平和な社会を築くために

深小学校 六年 谷口 勇翔

僕は、七十数年前に、言葉に尽くせない無残なことがおきていたことを「はだしのゲン」を読んで知りました。一九四五年八月六日午前八時十五分、広島に原子爆弾が落とされました。広島は、爆風で全てが吹き飛び、火の海となりました。その後、放射能により多くの人の命と健康が奪われ続けられました。広島が二十万人、長崎が十四万人。ほかに、沖縄戦によって亡くなった人が約十六万人と数え上げればきりがありませんが、多くの未来や大切な思いが戦争によって奪われたのです。



どうして人間は、たくさんの方を犠牲にする戦争をするのでしょうか。ぼくは、どんなに考えても全く分かりませんでした。でも一つだけ分かったことがあります。戦争は悲劇しか生みません。みんな笑顔で奪ったという事です。それなのに世界では今も戦争は起こっているのです。争いや戦争は天災ではありません。人が起こしたものであるのです。人が起こしたものであるならば必ず人が解決できるはずなんです。戦争をなくし、平和な社会を築くために僕がしなければならぬことは戦争について知り、深く考え伝えていくことだと思えます。一人でできることはとても小さいことであつても、伝えていくことで仲間が増え、小さな力も集まれば大きな力になると信じます。

だからこそぼくは誓います。この地球の未来が明るい笑顔であふれるものであるよう、ヒロシマの願い「世界から核兵器と戦争をなくす」ことを過去から学び、一人一人の命の重みを知り、互いに理解し合い、平和の大切さを伝え合うことで、平和をつくり続けていくことを。

地域貢献活動

深小学校

五年 石本 澤

十一月一日に地域貢献活動がありました。地域貢献活動というのは、深小学校の児童と保護者の方々と、深小学校を卒業した中学生とで、通学路を歩きながらごみを拾

う活動のことです。毎年一回、十一月の道徳参観日の後に行つていきます。この活動を通して感じたことが二つあります。



一つ目は、たくさんの方の地域を思う気持ちです。理由は、毎年たくさんの方の保護者の方と、中学生の人たちが、深町をきれいにしようとして協力してくるからです。また、少しのごみでも拾おうとする一年生や低学年の子達もいて、深町をみんなの力できれいにしようという気持ちが伝わってきたからです。

二つ目は、これからのことです。来年度、今の六年生が卒業すると、深小学校の全校児童数は、四十二人になります。それでも、一人ひとり、深町をきれいにしようと思えば、もっと深町がきれいになると思うし、また、一人ひとりがごみを道に捨てたりしなければ、深町はきれいな町になります。私は、来年の地域貢献活動は、深町をきれいにするために、リーダーとしてしっかりとがんばりたいと思います。

ふれあい広場

深小学校

二年 小林 ひろま

日曜日に「ふれあい広場」がありました。はじめに、もちつきをしました。教室でじゅん番をまわるときに、きねの持ち方やもちの丸め方をしゅうじゅうしました。一年生と二年生では、ぼくがさいしょにつきました。きねは重いのかあと思っていたけれど、子ども用のきねだったので、ちよつとだけ重かったです。



「一回、二回、三回」みんなが大きな声でかぞえてくれました。きねが、うすにまっすぐいかにいよこになつてしまつてむずかしいときもあつたけれど、うまくできてよかつたです。

つぎに、ついたおもちを丸めました。左手は平らにして、右手を丸くして丸めました。つきたてのおもちはあつかつたです。二回丸めました。つめたかつた手がホカホカにあたたまりました。そして、とんどになりました。今年もりっぱなとんどができました。六年生が火をつけました。いつきにもえ上がりました。みんなの書きぞめがよくもえました。なにかわかんないけれど、一まだれの高く空にまいたけれど、一また、外はさむかつたけれど、とんどの火であたたかくなりました。さい後に、とんどのおきでもちをやきました。ぼくは、あみに一

謹んでお悔やみ申し上げます

北迫 秀子 様八十三歳
(上組 高下講) 三月三日

深町各種団体四月行事予定

◆連合町内会	二二日
◆定期総会	二二日
◆上・中・下町内会	一四日
◆小学校	五日
◆PTA理事会	五日
◆就任式 始業式	八日
◆登校指導	九日
◆入学式	一〇日
◆学区児童会	一一日
◆PTA役員会	一二日
◆下校指導	一二日
◆参観日 PTA総会	一三日
◆全校一斉下校	一七日
◆下校指導	一七・二二日
◆家庭訪問	二二・二三日
◆子ども読書の日	二二・二三日
◆警備イベントほけつとよみかたり	二五日
◆春の遠足	二六日
◆如水館中学・高校	二六日
◆始業式(七校時運営)	八日
◆入学式	九日
◆運動会予行演習	二五日
◆運動会	二九日

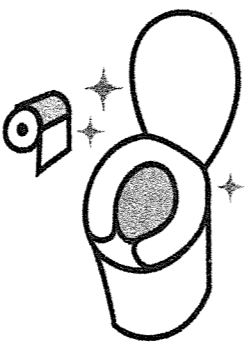
こだけのせました。あとこは家に持つて帰ることにしました。さわつてあたたかくなつたらうらがえしました。やけたので、さとうじょうゆをつけて食べました。とてもおいしかったです。来年も、またしたいです。

とれそうじ

深小学校

一年 ふなもと ゆまり

わたしは七がつは、ひとりです。よしといれそうじをしました。六ねんせいのおねえさんにおしえてもらったあとは、じぶんひとりでといれそうじをしました。



ひさしぶりのそうじで、つかつかないおうちのといれが、みどりいろになつていました。とても、きたなかつたです。「きたないっ。」「どうしよう。こもそうじしなくちゃ。」がんばつてぶらして「しごきました。きみどりいろになつてきました。またしろいろになりました。ぜんぶごしごしたからみどりといれがつるぴかんにになりました。きれいにできたところをおかあさんたちにみせたかったです。

せんせいたちにもたくさんほめてもらいました。ともだちが、「おくのといれ、つかつたときに、とてもきれいなつていて、びつくりした。」といつてくれました。たいへんだけれど、これからも、といれそうじをがんばれそうです。

コミュニティボックス設置の
お知らせ

深町子ども会ソフトボール
監督 頼兼 和秀

この度、ニチエー中之町店のレシートBOXに深町子ども会ソフトボールを設置させて頂きました。

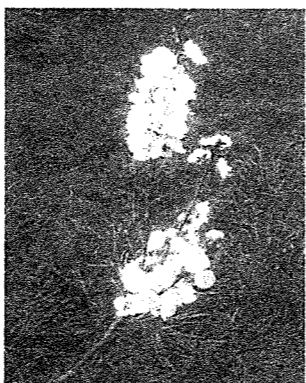


深町子ども会ソフトボール

今季は選手十名でのスタートになります。楽しく元氣よく頑張りますので、応援よろしくお願い致します。

興味のある深小の男子・女子、気軽に声を掛けて下さい。選手は随時募集中です。

《アンズの花》



深町子どもを守る会

子どもをみんなで
守りましょ。

深小の子供は



○午後四時過ぎに下校します。

一年生は午前中に下校する日があります。

※下校時間は日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで

見守りましょ。

○あいつ

声かけをましょ。

深小今昔ものがたり(十八)
「全校田植え」

尾道市美ノ郷町 石井 哲代

地域(深町)に、「根ざした活きた教育を」との思いに校内は満ちておりました。

五月、田植えの時期になりました。深町全域で朝から、「プープー」「ウーウー」耕うん機は走りまわっています。農業は機械化され、子供の手は邪魔にこそなれ、役立たなくなりつつの頃でした。

農繁期には、一週間から十日間位、学校も休みにして農業の手伝いをしていたのは昔の話。でも、農業が「くらし」の根っこである事は間違いありません。『子供達に田植え作業を経験させてやりたい』職員一同の総意で屋敷さんに相談しました。お家の丁度前の四畝程の田圃がよからうと快く貸して頂くことになりました。

『小学校で田植え』一大ニュースになったようで、町内は勿論町外からも、新聞社、NHK放送局も取材、「ワイワイ」、「ガヤガヤ」藤川さん宅前の橋から、屋敷さん宅の前の畑、運動場の西側の金網まで、黒山のような人だかりであった風景を思い出します。学校にも、家にも、テレビの無い時代には撮影、放送されたもので、見てはいませんが！



田圃へ入る前「苗はやさしく持って、二本ずつ、ゆっくり、泥土の中へさすんよ。」そんな言葉は、そっちのけ、「キャッーキャッー」と泥田へ。

屋敷さんの坂道でNHKさんからの質問、あれこれ答えている間に田植えはすんでしまいました。「子供達の田植え姿は見ぬままに残念!!無念!!」

「先生、久しぶりです。三原小の磯見です。」NHKの職員となって、深小の田植えの撮影隊の一員として参加していた、三原小の時の三・四年で受け持った磯見君でした。教師みようりに尽きるとはこんな事ではと、しみじみ想ったことでした。

歩く会(ニゴ)参加を

歩く会幹事 石井 堂熙

東広島市西条町 三ツ城古墳



月 日 四月八日(月)
予備日 四月十一日(木)

行程

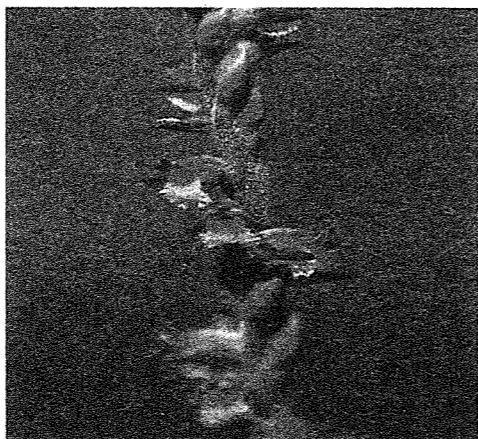
八時三〇分 深町上組公民館発(車)
九時三〇分 三ツ城古墳探訪
十時三〇分 鏡山公園探訪
十一時三〇分 探訪終了 昼食
十四時〇〇分 深町上組公民館着(車)

(※十二月十一日探訪予定でしたが大雨災害復旧工事の為、入場禁止により、延期しました。)

深町の植物

カ石 卓夫(三原市宗郷)

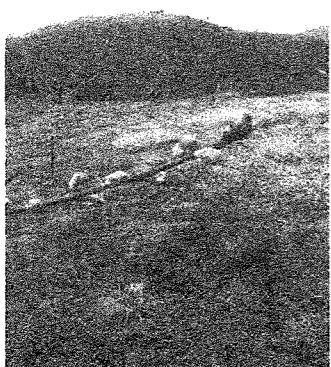
《ネジバナ》



花の上のほう 1/2、1/3に、らせん状にねじれた穂状花序の形。花を見れば一目瞭然。誰でも納得の花の名前。

※七月十七日撮影

《桃のつぼみ》



TBG協会だより

第九回世羅町チャンピオンズカップ
ターゲット・バードゴルフ大会

第九回世羅町チャンピオンズカップTBG大会が三月十七日(日)に世羅町・小谷コースにて行なわれました。三原市TBG協会からは、金子勝彦、三崎卓夫の二名が参加しました。

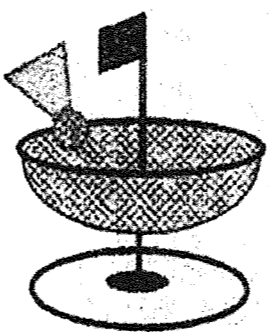


成績は次の通りです。
グラントシニアの部
二位 金子 勝彦

第八十五回三原市

ターゲット・バードゴルフ大会

第八十五回三原市TBG月例大会が三月二十三日(土) 深町・城山コースにて行なわれました。



成績は次の通りです。

- 一位 竹ノ内洋子
- 二位 三崎 卓夫
- 三位 井上キヨコ
- ベスグロ六十八 金子 勝彦
- ホールインワン 金子 勝彦
- 二人組戦 天木 雅之
- 一位 金子 勝彦
- 三崎 卓夫

※選手の敬称略

次回大会は四月二十日(土)

TBG事務局 天木 雅之
(TEL 六三二二九九〇)

千川神社だより

会計報告

千川神社 総代長 寺田 弘

行事等(一般会計)

残高 五五二、〇四六

施設修繕費等(特別会計)

残高 一七六、二八七

残高合計 七二八、三三三

平成三十一年三月三十一日現在

3年間の思い出

遠嶋 愛花

私は、中学校三年間の学校生活の中でいろいろな経験をし、大きく成長することができました。そして、みんなの楽しい思い出をたくさん作れました。

私は、吹奏楽部に所属していました。コンクールや文化祭などの行事があるたびにどんなにつらくしんどい練習でも仲間とともに一生懸命に頑張っていました。また、パトリーターとセクションリーダーとして聴いている人の心に響く演奏をするにはどうすればよいか考え、みんなに自分の意見を伝えてきました。



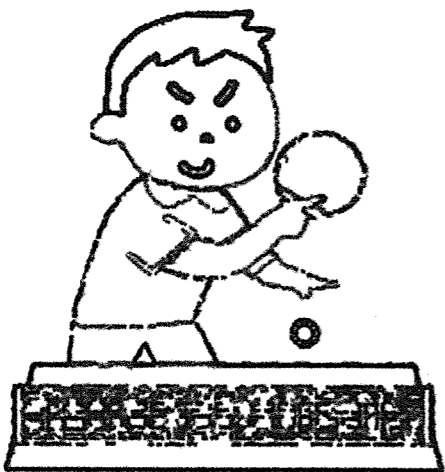
私は、部活動を通して最後まであきらめずに頑張ることの大切さ、自分のことだけでなく周りを見て行動することの大切さを学びました。高校生になっても中学校で学んだことを忘れず、目標や夢に向かって毎日、小さなことから少しずつできることを増やしていきたいと思えます。

中学生になって

橋詰 勇輝

僕にとって中学校生活は、本当にいろいろなことを学ばせていただいた時期でした。その中でも部活動がとてもしっかり思い出になりました。

僕は卓球部に入学していました。初めのうちはあまりコミュニケーションをとれていませんでした。しかし時間が経つにつれ、先輩や同級生と仲よくなり、いつしか親友のようになっていました。そんな仲間と一緒に練習し同じ目標に向かっていきました。その甲斐あって僕は、団体一つ、個人二つの賞状を手に入れました。

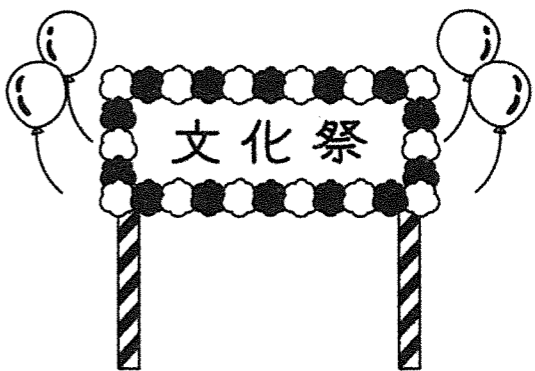


僕ができました。自分でもやれば出来るのだと思える自信に繋がりました。僕は部活動から団結する大切さと、あきらめなければ結果に繋がる大切さを学びました。僕たちはもうすぐ中学校を卒業しますが、新しい新入生にいろいろなことを学んで成長して行ってほしいです。中学校で学んだ全てを生かし、高校生活やその後の人生を悔いのないように過ごしていきたいです。

卒業にあたって

寺田 慎之介

僕は、三年間の、中学校生活を終え、とても楽しい三年間だと思えます。入学するときは、みんなと仲良くできるか不安だったけど、仲良くできました。



中学校では勉強に加え、部活動がはじまるため、毎日がとても楽しく、充実した日々を送ることができました。試合にむけてチームメイトと一緒に努力し、勝てたときはすごくうれしかったです。

また、体育祭をはじめ、文化祭や二中フェスタなどの行事も、優しく、とてもおもしろい先生方を中心に学校が一つになり、練習を重ねました。成功したときは、すごくうれしかったです。高校にむけて、卒業しても運動や勉強を続け、がんばります。

二 中 生



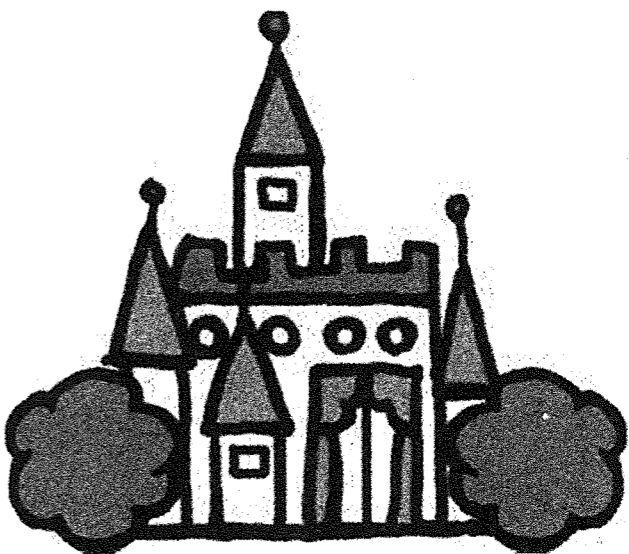
3年間の思い出

新谷 啓至

今、中学校での生活を振り返ってみれば、大変なこともありましたが、楽しい思い出の方が多いと思えます。

僕の中学校生活の中で最も心に残っている事は、やはり修学旅行です。二中では東京都に行き、いろいろな経験をしました。特に、デイズニールランドは自由時間で、友達といろいろなアトラクションに乗ったり買い物したりと友情を深めることができました。

僕は、陸上部に入っていました。楽しいことや辛い事も経験することのできた部活動は僕にとってかけがえの無いものでした。そして、僕が楽しく部活動できたのは仲間がいてくれたからです。練習で疲れた時や、雰囲気が悪かった時、試合の時に支えてくれる仲間がいました。僕は部活動から、仲間は大切なものと学びました。



この三年間は、言葉では表せないほど多くの思い出が詰まっています。新入生にもたくさん思い出を作ってもらいたいです。

卒業をむかえて

田代 和志

僕は、この三年間で様々な体験をしました。入学式では、知らない人たちと一緒にクラスで、とても人数が多くビックリしました。一番おどろいたのは、一学年で二クラスあることでした。小学校の頃は、一クラスしかなかったので、とても新鮮でした。



二年生の修学旅行では、デイズニールランドでアトラクションを楽しんだり、パレードをみたりしました。また、班別自主研修では、上野動物園に行ったり、渋谷で買い物したりしました。いろいろハプニングがあったけど楽しかったです。

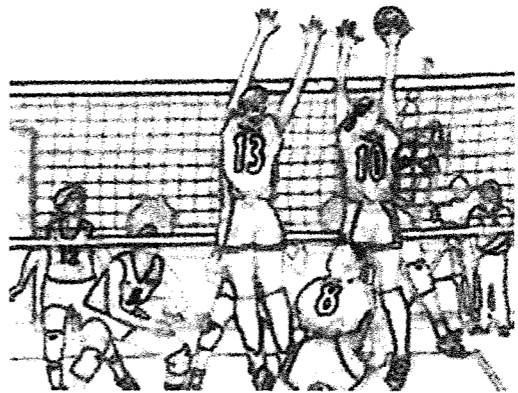
三年生では、最後の文化祭でみんなが一つになり、合唱コンクールで優勝することができました。そして、僕は卒業をむかえました。この三年間様々な楽しいことやつらいことがあったけど、とても充実した三年間でした。

卒業

藤井 彩音

中学生になってからの三年間はあっという間に過ぎ去り、もう卒業しようとしています。この三年間を振り返ると様々なことがありました。その中でもやはり一番の思い出といえば部活動です。

私はバレーボール部に所属していました。元々球技が苦手だった私にとっては大きな挑戦だったことを思い出します。途中怪我をしたり、思うようなプレーが出来なくて挫折しそうになったこともありました。



でも、たくさんの人たちが支えてくださったおかげでバレーボールを続けることができたし、たくさんの仲間達とかけがえのない時間を過ごすことができました。

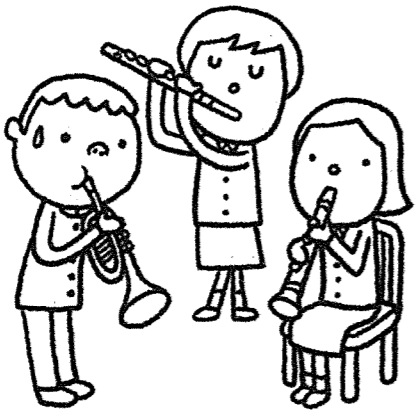
これから中学を卒業し、自分の将来に向かっていく中で感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきたいと思えます。

中学校生活を振り返って

藤原 栄未

入学した時は人数の少ない小学校で六年間を過ごした私は、人数が増えうまうまやっつけていけるか不安でした。しかし、入学前から考えていた吹奏楽部に入部し、すぐに友達ができ楽しい中学校生活を始めることができました。

部活は楽しいばかりではなくやめたいと思うほどしんどいこともたくさんありました。でも、優しい先輩に恵まれ、部活を続けられたことが楽器を演奏する



楽しさやみんなと協力して一つのことをやりとげることの達成感を感じることができました。

人間関係でも悩むことの多い三年間だったけど、相談できる先生や友達に助けられくじけそうにならな

がらも頑張ることができました。中学三年間でのさまざまな学びをこれからの進路に役立てていきたいです。良きも悪きもあつという間の三年間でいいです。

中学校で学んだこと

徳永 仰泉

ほくも、とうとう中学校生活を卒業する時期となりました。この三年間で、いろいろな思い出を作ることができました。

中学校生活で学んだことは、例えば、苦手な教科を



積極的に取り組み苦手を克服したことで、「諦めず努力することの大切さ」を学びました。これは、ほくが、技術家庭科が、一年生から、二年生まで、苦手でしたが、実技テストや、授業で習ったことを、家でふりかえる努力をする、実技テストでは、満点や、定期テストでも、高得点がこれ、せいせきでは、最高せいせきをやるということができました。

卒業

文集

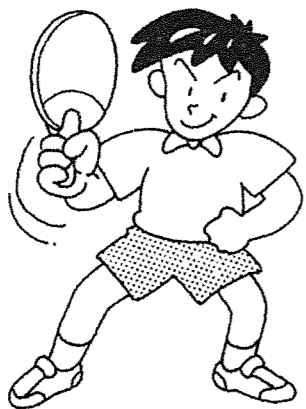
平成31年 春

この三年間で、「諦めず努力することの大切さ」を学んだので、どんなことでも諦めずに、努力する志を持ち続け、自分の夢を叶えるために努力を続け夢を実現していきたいです。そのためにも、「諦めず努力することの大切さ」をより、深く追求していきたいと思

3年間を振り返って

柏原 啓翔

僕は中学校での生活で、努力を続けることで、そこでつけた力がほかの場所で生きてくるということを学びました。



僕は、部活は卓球部に所属していました。そこでの練習や試合などを通して続けていくことの大変さや、負けたときの悔しさを勝ったときの喜びなどを学びました。

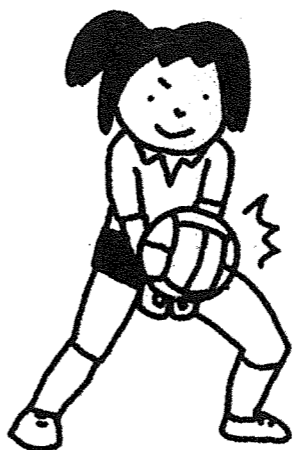
トドカナイカラ諦めるのではなく、諦めずに最後まで頑張るということが大事だと思えた三年間でいいです。ここで学んだことを忘れず、高校生になってからも頑張っていきたいです。

中学校で頑張ったこと

木谷 はるか

私が、学校生活で頑張ったことは、勉強と部活です。勉強では、志望校に合格できるように苦手な勉強を頑張ってきました。苦手な教科がたくさんあったけど、自習をしたり、黒板に書いてなくても自分でノートにメモしたりしました。そのおかげでテストの点数も上がるようになったのでうれしかったです。

部活では、三年間バレーボールをしていました。三年生になって部長をつとめました。私は、人の前で話



すのはあまり好きではなかったけど部長をつとめるようになってたくさん経験をしてきました。その経験があったからこそ人前で話すことができるようになりました。高校でもバレーボール部に入るので頑張りたいと思います。また、高校に行っても勉強と部活を頑張っていきたいと思えます。

中学校生活で学んだこと

友井 海月

僕は、中学校の三年間でたくさんの事を学び、毎日楽しい日々を過ごしました。

入学当初は、人数が多い中学校になかなか慣れず、毎日怯えるような毎日でした。しかし、すぐに部活動が始まり、部活動や授業を通していく内に、だんだんと友達が増え、いつの間にか学校へ行くことが楽しみになっていました。



けれども、中学校生活に慣れてきた頃、部活や勉強に手を抜き始め、成績も伸びないまま、その結果に満足してしまいました。しかし、周りの友達や先生に真剣に取り組んでいる姿に、自分も負けられないと思い、毎日予習、復習をし、検定にも挑戦するようになりました。その結果、部活や勉強でも学年上位にまで成長しました。

このことから、努力すれば結果が出ることを学びました。だから、高校でも努力して良い結果が出せるように頑張りたいです。